

# Cisco Prime Collaboration プロビジョニングの断続的なハードコードされたパスワードによる脆弱性



アドバイザーID : cisco-sa-20181003-[CVE-2018-15389](#)  
cpcp-password  
初公開日 : 2018-10-03 16:00  
バージョン 1.0 : Final  
CVSSスコア : [8.1](#)  
回避策 : No workarounds available  
Cisco バグ ID : [CSCvd86564](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

## 概要

Cisco Prime Collaboration プロビジョニング ( PCP ) のインストール機能の脆弱性により、認証されていないリモートの攻撃者が、インストール中に使用されるデフォルトのハードコードされたユーザ名とパスワードを使用して、管理 Web インターフェイスにアクセスする可能性があります。

この脆弱性は、場合によっては、ハードコードされたパスワードが固有のパスワードで置換されないために発生します。エクスプロイトに成功した攻撃者は、管理者レベルの権限で管理 Web インターフェイスにアクセスする可能性があります。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザーは、次のリンクより確認できます。

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20181003-cpcp-password>

## 該当製品

### 脆弱性のある製品

この脆弱性は、リリース 12.1 より前の Cisco Prime Collaboration プロビジョニングに影響を及ぼします。

管理者は Cisco PCP GUI を使用することで現在の PCP リリースを確認できます。

1. PCP にログインします。
2. 画面の右上近くにある [設定 ( Settings )] アイコンをクリックします。
3. [バージョン情報 ( About )] をクリックします。

リリース情報は、ログイン画面にも表示されます。

## 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

このアドバイザリの[脆弱性のある製品セクションに記載されている製品のみが、この脆弱性の影響を受けることが分かっています。](#)

## 回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

## 修正済みソフトウェア

シスコはこのアドバイザリに記載された脆弱性に対処する無償のソフトウェアアップデートをリリースしています。お客様がインストールしたりサポートを受けたりできるのは、ライセンスをご購入いただいたソフトウェアバージョンとフィーチャ セットに対してのみとなります。そのようなソフトウェアアップグレードをインストール、ダウンロード、アクセスまたはその他の方法で使用した場合、お客様は以下のリンクに記載されたシスコのソフトウェアライセンスの条項に従うことに同意したことになります。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/end-user-license-agreement.html>

また、お客様がソフトウェアをダウンロードできるのは、ソフトウェアの有効なライセンスをシスコから直接、あるいはシスコ認定リセラーやパートナーから取得している場合に限りです。通常、これは以前購入したソフトウェアのメンテナンス アップグレードです。無償のセキュリティソフトウェア アップデートによって、お客様に新しいソフトウェア ライセンス、追加ソフトウェア フィーチャ セット、またはメジャー リビジョン アップグレードに対する権限が付与されることはありません。

ソフトウェアのアップグレードを検討する際には、[シスコのセキュリティアドバイザリおよびアラート ( Cisco Security Advisories and Alerts )] ページで入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性と完全なアップグレード ソリューションを確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center ( TAC ) もしくは契約しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

サービス契約をご利用でないお客様

シスコから直接購入したが Cisco Service Contract をご利用いただいていない場合、また、サードパーティベンダーから購入したが修正済みソフトウェアを POS から入手できない場合は、Cisco TAC に連絡してアップグレードを入手してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html>

無償アップグレードの対象製品であることを証明していただくために、製品のシリアル番号と、本アドバイザリの URL をご用意ください。

## 修正済みリリース

この脆弱性は Cisco Prime Collaboration プロビジョニング リリース 12.1 で修正されています。

Cisco Prime Collaboration プロビジョニング ソフトウェアは、Cisco.com の [Software Center](#) にアクセスし、[次の手順でダウンロードできます。](#)

1. [すべてを参照 ( Browse All ) ] をクリックします。
2. [クラウドおよびシステム管理 ( Cloud and Systems Management ) ] > [コラボレーションおよびユニファイド コミュニケーション管理 ( Collaboration and Unified Communications Management ) ] > [Prime Collaboration] > [Prime Collaboration プロビジョニング 12.1 ( Prime Collaboration Provisioning 12.1 ) ] を選択します。
3. [Prime Collaboration プロビジョニング 12.1 ( Prime Collaboration Provisioning 12.1 ) ] ページの左側のペインを使用して、その他のリリースにアクセスします。

## 不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team ( PSIRT ) は、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表を確認していません。

## 出典

本脆弱性は、シスコ内部でのセキュリティ テストによって発見されました。

## URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20181003-cpcp-password>

## 改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初回公開リリース	—	Final	2018 年 10 月 3 日

## 利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。